

林檎

岩手Mac友の会

Vol.3, No.3 1991.6.15

Iwate Macintosh Funclub

今年度の活動

定期総会も無事?に終了し、新しい年度がスタートしました。また1年間お世話になることになりましたので宜しくお願い致します。

この会の発足時にもお話しましたが、3年を経過した今、あらためてこの会の活動方針を皆さんで確認してみたいと思います。

この会は会員相互が Volunteer として Voluntary 精神で活動するものです。これは日本語のボランティアとはかなりニュアンスを異にします。有志が自発的に自由に活動する場であることを基本として運営するというのが一貫した姿勢です。

新約聖書の中の一節に私の大好きな言葉があります。この言葉が私の行動の基本原理であり、かつまたこの会の基本方針の基でもあるのでここに紹介します。

Ask, Seek, Knock

Ask, and you will receive;
seek, and you will find;
knock, and the door will be opened to you.

For everyone who asks will receive,
and anyone who seeks will find, and the
door will be opened to him who knocks.

誤解の無いように申し添えますが、私は宗教的にはいいかげんな仏教徒であり、キリスト教徒ではありません。

ともかく、このような会であることを念頭に、会員の皆様の積極的な活動を期待します。

副編集長就任

多忙な編集長を補佐するために照井芳夫さんに副編集長に就任していただくよう、総会で決まりました。妥協を許さない几帳面な性格の彼の活躍で、この会報も益々充実することでしょう。

会員の皆さんのご協力を宜しくお願いします。

分科会の発足

特定のテーマを研究する集まりである分科会 (SIG:Special Interest Group) が発足しました。これも会の発足時から計画のあったものですが、会員相互の交流が深まった今からが、本当に活動できるものと期待しています。

最初にできたのが、プログラミング分科会で、座長は福田健次さんです。続いて CAD/CG 分科会が高橋晃さんを座長に名乗りを上げました。興味のある方はそれぞれの座長に声をかけてください。

分科会は誰でも発足することができます。自分が勉強したいテーマで人を集めて教えて貰うのも有効な手段です。ただし発足のアナウンスはこの会での義務です。

今年度も楽しく充実した MacLife を過ごしましょう!



Inside

IMF 総会	2
山の花	4
東京通信	5
アクセス	6
私の Mac Life	8
英文コラム	10
林檎ギャラリー	11
分科会	12
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16

私の

91 IMF 総会

by 徳富 亘



Memo

去る、4月20日、かねてから御案内していたとおり、91年のIMF総会が、盛岡中央公民館2Fにて開催されました。

大勢の会員の御参加を戴き、会場はほぼ満員の状態でした。

司会進行役は照井さん、会は次のように進められました。

1. ゲストスピーチ:

Apple Japan マーケティング部、大宮哲男さん

2. StylWriter デモ:

サービス& サポート部、吉川恵美さん

3. 総会

4. 自己紹介

5. 写真撮影、万カプレゼント(Head-Wayの社長から贈られたものです)

6. 解散



「あーいそがしい」

それぞれの内容を簡単にお示しすると以下ようになります。

1. ゲストスピーチ

Apple の大宮さんから。会社の方針と、商品構成の説明。ノートもデスクトップシリーズと同様にハイ、ミドル、ローの商品展開にする予定だそうです。

質疑応答の要約

白石さん「日本語化標準仕様を決めていただけませんか」

Apple 「現在プロジェクトを進めています」

山本さん「プロテクトをどう考えていますか」

Apple 「商業戦略ですね、かけるのも、かけないのも」

私「Quarkのプロテクトは、時間を見るのをやめて、キーディスクだけにしたい」

Apple 「伝えておきます」

2. StylWriter デモ

小さくて、スマートな上に奇麗で静

かでした。それは、デモにあたってくださったApple Japan の吉川さんと良くお似合いです。

3. 総会

野村さんから、会の成り立ちなど説明

会計報告、佐々木さん。

会功労者として杉村さんが紹介されました。

今編集長をさせていただいている自分が紹介され、東京から遠路はるばる駆け付けていただいた、初代編集長の荒木さんが紹介されました。

役員の承認。

会長 野村行憲

会計 佐々木幸司

編集長 徳富 亘

副編集長 照井芳夫



「カーレースとニンニクも好きです」



「アップルに入りませんか」

MMMについて。

野村さんから成り立ち説明と、参加者の説明等が行なわれました。MMMの会場は未定ですので、心当りの場所があれば教えて欲しいということで、アイデア募集中です。

7,8月に開催予定。やすく、一晩中Macを並べて置けるところが希望です。

編集委員会を世話人会と呼びたい旨、野村会長から要望が出されたところ、それに対する異議はないようでした。

例会の開催について、野村さんからの提案。

例会は毎月第三土曜日。14:00～

遠くからでも出席可能な曜日ということで土曜日が選ばれました。第三としたのは、月初めと月末を避けた結果のようです。皆さんとお会いできるのが楽しみです。

プログラミングなど、分科会活動を始めましょう。

分科会を、月一くらいでやっていきましょう。初めはのみ会から。

会長を福田さんをお願いしてスタートすることになりました。

その他

郵送希望者には郵送料1000円負担のお願いと承認。

照井さんから

「Head Way からラベルプリンターを寄贈されました」

荒木さんから

「総会日時と場所、例会などもBBSで、すぐわかるようにタイトルに書いてしまうといいんじゃないでしょうか」



ゲゲ、と驚く野村さん



もってけ万力、ジャンケン大会



流麗な名司会、照井さん



そして最後に、編集委員会（世話人会）入会のお誘いを申し上げました。

4. 自己紹介

（余談ですが、白石さんが、Macintosh 関連のアクセスと言う会社を作ったそうです。「サクセス」という言葉を連想させられるような勢いがありました）

5. 写真撮影、万力プレゼント(Head Wayの社長から贈られたものです)

去年の写真に不満足な人や、去年写真を撮影しなかった人は、会場に残っていただき、写真を撮影させて戴きました。今年こそは、会員名簿を発行できるよう頑張りたいと思います。

6. 解散

二次会、岩手医大傍の、「根太の下」という酒屋で10人位で盛り上がりました。

三次会、駅前の焼肉屋に、冷面を食べに行きました。アップルの吉川さんに盛岡名物を食べて戴きたいという主旨でした。吉川さんは冷麺が初めてなので、辛味は別に出してもらって各自、好みで入れられるようにしよう、みんなが言っているのに、自分と人生論(?)に夢中になっていた高橋さんが、全部激辛を注文してしまって、みんな額に汗して食べながら、フーフー言っていました。辛味とニンニクが苦手な自分は、ひとり平然とコムタンクッパ



をすすめるの

でありましたが、となりの白石さんは、ガフガフいいながらあっといいう間に真っ赤なスープまでのみ終わってしまっていて、最後まで超人ぶりを発揮していました。

クリーム色の壺型の花で、先がお
ちょぼ口になっているところがとても
可愛らしくて好きな花です。7月の秋
田駒ヶ岳の例のムーミン谷で見つけま
した。この花の紅紫色になったものを
エゾノツガザクラと言います。早池峰
にも有るらしいのですが、極めて限ら
れた数しかなくて実物を見たことは有
りません。是非とも見たい憧れの花の
一つです。北海道の大雪山には沢山有
るらしいので、是非とも何時か休暇を
取って行きたいと思っています。



更に北方四島にはまだ見たこともな
い素晴らしい高山植物が荒らされず
残っているのではないかと想像してい
ます。自由に行き来が出来るようにな
り、登山路が確保されたらどんなに素
晴らしいことでしょうか。でも北海道
の大雪山もままならないのに、その北
まで足を延ばせることが出来るのか、
その日まで体力が残っているのだろう
かと、考えるのも楽しく、ちょっぴり
寂しくもあります。



アオノツガザクラ

東京通信



4月上旬に突然、坂本ゆりさんから職場に電話がかかってきた。

「どうしたんですか」、「荒木さん、盛岡のはぶら館って知ってる？」……話を聞くと、開運橋のたもとにあるその喫茶店と店の前に聳えるメタセコイアの木が近々、河川改修工事のために撤去、伐採されることになったというのである。そして、ゆりさんは何とかその木を残したいというのだ。

ゆりさんは岩泉で「アトリエ野の花」を主宰し、ドライフラワーづくりで自分の生活と地域の主婦たちの生き方を一変させてしまったスーパー・ウーマン。僕が盛岡時代にいろいろと取材でお世話になり、今だに可愛がっていただいているいわば「岩手の母」でもある。

というわけで、その話について身を乗り出してしまい、メタセコイアを残すため、いくつかのアイデアなども出したこともあり、とうとう4月22日(月)にはぶら館で、開かれることになった「メタセコイアを守る会」の発起人会に出席することになった。そして、それなら20日(土)のIMF総会にも出席しなくちゃ損ということで今回は総会にも出させていただいた。

この話は新聞やテレビでも取り上げられたので知っている人も結構多いと思うのだが、建設省の河川改修事業で、開運橋から見て岩手山側とは反対側の岸辺が整備されるということになり、そこにあったいくつかの民家と、窓からゆったりとした北上川の流れを望むはぶら館、さらにメタセコイアが撤去されることになったというもの。

はぶら館を一人で支えてきた女主人、主浜亮子さんの半生とそれにまつわるメタセコイアの話の聞いて、ゆりさんがせめてその木だけは思い出に残したいと思い、署名を集めるなどの行動を起こしたのだった。「明るくさわやかにやりましょう」というゆりさんの提唱のもと、発起人会には盛岡内外から僕を含め約二十人の人たちが駆けつけた。そして、そこにはエッセイストクラブ賞を受賞した盛岡の若い作



はぶら館で開かれた「メタセコイアを守る会」で

家、澤口たまみさんも顔を出した。

発起人によるミニシンゴもその時にやったのだが、沢さんが「山にあるブナのような木を残すのも大事なことで、街の中で人とともに生きてきた木を残していくことも自分たちの街づくりにとって大切なことではないでしょうか」という趣旨のことを発言され、僕もそれに同感した。

開運橋から見る岩手山の眺めは、緑の河川敷とその中にある大柳の木々たちによって盛岡という街の美しさを実感させてくれる。そして、その眺めが

あるのは、建設省と闘って木と河川敷を守った盛岡市民と行政の画期的な成果だと思う。今回の話もその延長線上にあるという気がした。

その後の話を聞くと、4月いっぱい撤去される予定だったはぶら館はとりあえず9月まで営業できることになったということだ。メタセコイアも何とか残してほしいと思う。

話はまた飛ぶが、6月8日から上野駅で花泉の商工会青年部が最近まとめた写真集「花の大地」から抜粋した写真展が開催されることになった。この話にもついつい身を乗り出してしまい、この前もJR側とその青年部から来たやはり岩手時代の友人、さらに写真集づくりに協力した写真家らとの企画会議に出席させてもらった。

この写真集は、岩手全体の名もない場所にひっそりと咲く花たちを通して岩手をもう一度、見直すという、町の商工会青年部が作成したものとしては地域の枠を超えた破格のもの。写真の水準も本としての仕上がりもハイレベルだ。

「花はそれを取り巻く環境と調和してはじめてその美しさを開花させる。岩手にはそのような風景が今、確実に消えつつある」という友人の指摘に僕も同じ思いだった。

僕が最近、かかわった岩手の環境をめぐる二つの話をしてきたのだけれど、何故か僕はこうした人たちの動きとIMFの人々のやっていることはどこかでつながっているような気がするのです。もちろん直接的には別のものなのだが、本質的なところで違うことではないという思いが僕には強くある。とういことで、ますます岩手と離れられなくなっている自分を感じる今日この頃でした。

荒木健次91・05・25



簡単に、新しく、しかも人の心をとらえ、奥が深く、すぐにあきらめられないものを持った会社になりたい

アクセス

A SIMPLE, HOT & DEEP
ACCESS

有限会社アクセス 白石 隆

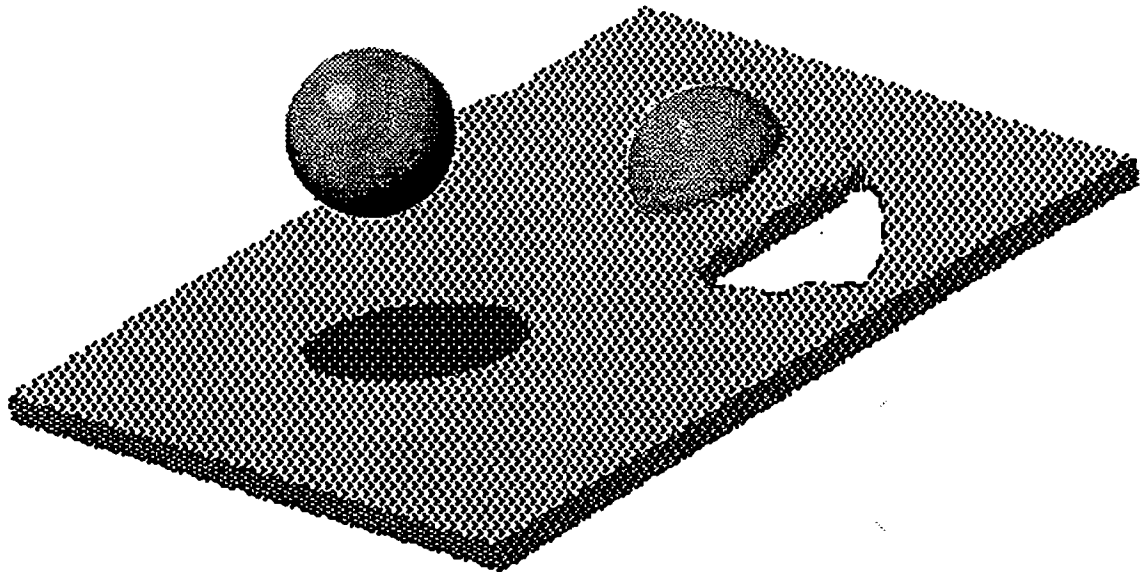
アクセス設立顛末記

なな、なんと、この度、私めはついにマックのハード、ソフト販売と修理やソフト開発、SI(システム・インテグレーション)、パソコン教育のための会社を作ってしまった。趣味がついに仕事になってしまったのです。ベトナム化してしまいました。この意味は泥沼に入ってしまったということ

ジは、スピード感のある書体でお願いしましたらこんなに良いものができました。アクセスの名前は、誰よりもどこよりも早く、人にアクセス、情報にアクセスしたいということをこめて命名しました。口の悪い、某照井さんや、某徳富さん、某市役所の佐々木さん、某岩手医大の佐藤先生などに言われる前に書きますが、「アクセスはあくせくばかりする会社を作ったな。」

SIMPLE

といわれしないで、サクセスしたいなーと思っている次第です。
会社の理念はSimple,Hot&Deepです。

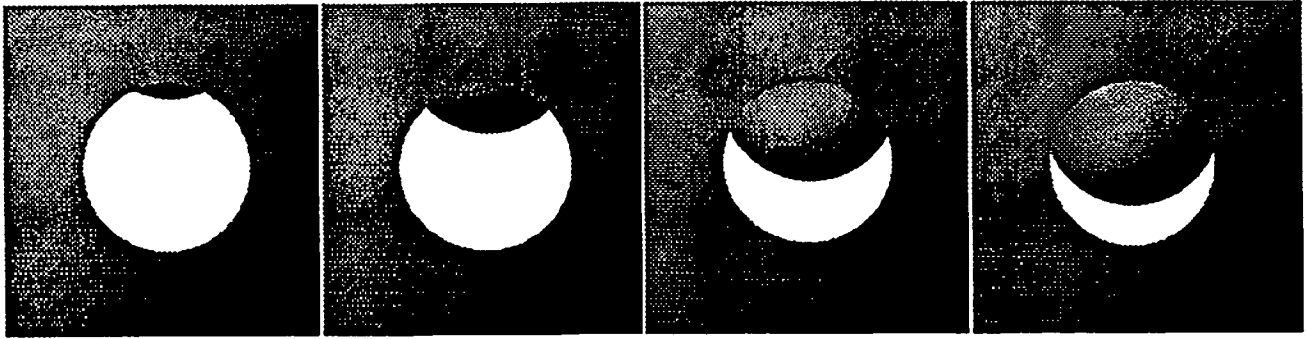


です。いわゆる、はまってしまいました。いやはや。

4月1日に有限会社アクセスを設立しました。4月から商法が改正になり有限会社も資本金2,000万が最低資本金になるので、駆け込みで3月中に法務局に登録しました。資本金は200万の零細企業です。ただし、零細企業で

すが志は高くもっていきたいと考えています。代表取締役は以前マックの例会にも出席したことがある高橋和良くんです。私めはその専務です。パン屋の白石食品でも専務、ここでも“何にも専務”です。この会社のロゴタイプはマック友の会の佐々木さんのデザイン事務所ファブリックに作成してもらいました。(注1) デザインイメー

いつでも、誰でも、どこでも、Simple,Hot&Deepを目指すためです。シンプルとは、簡単に、ホットとは、新しく、しかも人の心をとらえ、ディープとは、奥が深く、すぐにあきらめられないものを持った会社になりたいということです。この三拍子が揃っていて、本当にすぐれた会社が成立するという。これはアクセスに限らず、す



くれたソフトを持っているマックの理念と一致します。私めと高橋くんが今、考えていることは、いままでのマックユーザーはどうしても、マニア、デザイナー、医者、放送広告関係、建築関係など自由業に近い人達が使用していたマックを、いわゆるサラリーマンのビジネスユーザーにも使っ

てもらおうことです。そのために、ただマックを売るのでなく、ハード、ソフト



の相談やLANシステム構築やマックのソフト使用のための社員教育なども手掛けたいと思っています。ハードの場合は、どのくらいのハードディスク容量が適切か、モニタはカラーか白黒か、縦型かなど、バックアップのためのデバイスはどれが必要か、プリンターは、カラーか白黒か、インクジェットかレーザーか、A4がいいかB4がいいのか、POSTSCRIPTプリンターがいいかなど適切にアドバイスしていきます。なおキャノン販売でアッ

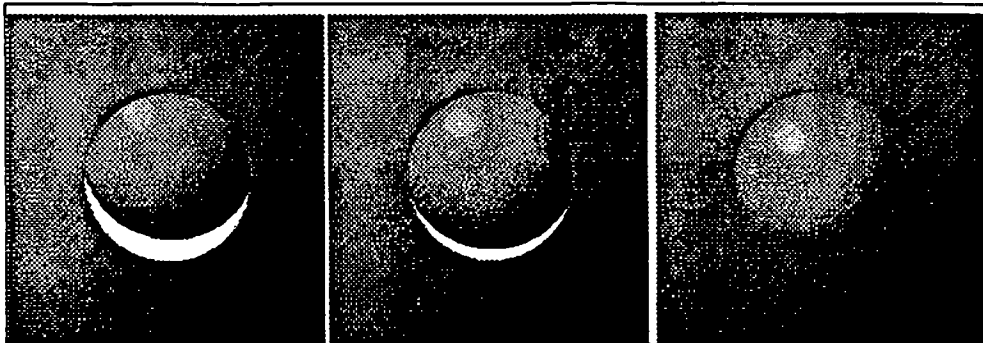
わざわざ、キャノンへ送らなくてもアクセスの方で、マックの修理もできるライセンスをとっています。そのため、マック関係のどのような部品の交換、部品の取り寄せなどもできるようになっていて、短期間で修理できる体制になっています。"フッフッフ"、どんな部品でも取り寄せできるんですよ、照井さん、福田さん、この意味わかるでしょう。アブナイ遊びができますよ。ソフトの面では、爆弾でない方法、INITの順番をどうすれば爆弾がでないか、システムヒープをどれくらい取ったら爆弾がでないか、ソフトはどれを使ったら一番いいのか、英語版のソフトを、個人的にアドバイスしてResEditで日本語にする方法、異種間パソコン、オフコン、汎用とのデータ交換など。いろいろ相談に乗れたらと考えています。従来のシステムコンサルタントの場合、コンピュータのことは知っていても仕事の内容がわかっていない人達が、多くいたのではないのでしょうか。又、一般の人達のレベルで使いやすいソフトを構築することも、コンピュータの世界にドブプリ入っている私も含め、自戒してわかり

やすいものにしなればなーと考えています。いやはやスゴク宣伝臭の強い文章になってしまいました。木津屋の杉村さん、岩手科学社の村上さん、ICSの野村さん、どうもすみません!! ResEdit s SumToolでバッチするのが趣味なので、6月のMacJapan風にプログラマーでなく、リソースをいじるのでリソグラマーと肩書を替えることを考えている都南のアクセスの"フッフッフ"白石でした。



皆さん気をつけましょう。
暗い夜道とマックには

(注1)ちなみにACCESSのAはマック書道(1)で千回描き直し他の文字はIllustrator1.9.5で作成したという労作です。



誰よりもどこよりも早く、

人にアクセス、

情報にアクセスしたい

「同社宣伝ビデオより」

ACCESS

私の



Mac Life

by 照井 芳夫

標準環境の模索と日本語環境の整備

Macが我が家の一員になったのは、丁度3年前の88年7月初めで、20MBハードディスク内蔵のSEでした。この年の2月には「漢字Talk2.0」が発表され、6月には「日本語HyperCard」の発表と同時に「日本語Mac」はメモリー2MBに、そして値下げとなりました。前年の秋の創刊から雑誌「MAC LIFE」を購読し、6月にはIMFの例会に恐る恐る参加してみた私には正に「時が来た」のであります。

Mac購入には2つの理由がありました。その一つは、「面白そうな物に対する興味と憧れ」で、IMFのメンバーのかなりの方と共通していると思います。もう一つの理由は「職場での応用」で、ロゴマークの処理がMacでやれそうな予感がしていました。

購入当初は、「2メガRAMに20メガハードディスク」は個人の持物としては大変大きな物を買ったと自負し、辺り構わず大声で言いふらしたい様な気分でした。しかしそれが大した物では無い事を思い知らされるのには半年もかかりませんでした。その後我が愛機はメインボードを交換されてSE/30となり、メモリーは8MB、ハードディスクは105MBに、フロッピードライブはスーパードライブ+800kBの2ドライブに強化されましたが、フロントパネルだけは購入当時のSEのままとなっています。

この3年間の「私のMacLife」は約1

年毎の3期に分類されます。

第1期、Macを取り巻く環境と近くのユーザー仲間を知る。

第2期、取り敢えずMacにも日常の仕事をしてもらう。

第3期、Macが普通の世間に受け入れられる様にMac環境の整備をする。

第1期

ほとんどの人と同じだと思いますが、あらゆる機会を捉えてはMacに関する情報を集め、ソフトを試し、PDSを手に入れ、自分とMacがどの様な接点で仲良くなれそうかさぐっていました。自分としてはかなりの投資をしたことも有って「あばたもエクボ」になりがちでしたが、やはり「長所も短所も良く知る」事が長く付き合う基本と思っています。丁度この期間中に長男がアメリカに10カ月間留学し、ホス

トファミリーのパソコン購入に際してMacの伝導者を演ずるという思いがけない巡り合わせに運命を感じました。

第2期

Mac購入から8カ月位で家庭の雑事や職場での仕事の補助に働き出しました。そして「私のMacLife」に特筆しなければならないのが会報「林檎」編集会議への参加です。学校新聞の編集もしたことがない私にとってはまさに初体験の場で有り、「編集作業」と「編集委員の皆さん」とのお付き合いは私の世界を大きく広げました。

89年の6月末には長男が大量のフロッピーを抱えてアメリカから帰って来ました。しばらくの間その中身のテストにかかりながら「私のMacLife」は新たな展開へと歩を進めたのであります。

その中で特筆すべきは既に足を突っ込み始めていた「林檎編集」への本格的な参加と各種パソコンネットへのアクセスによるMac情報の収集、そして肥大しつつあったシステムホルダーとハードディスクをスリムにする為の最適環境構築へのスタートでした。そうこうして居る内にSE/30が現れました。おまけにSEからのアップグレードサービスがアナウンスされ、サードパーティーのアクセラレーター使用に傾きつつあった私にとって純正品路線との選択で悩み多い日々がしばらく続きましたが、結局90年3月SE/30へアップグレードを敢行し、同時にメモリーを5MBに強化しました。今現在のMac環境から見て選択は間違い無かったと思っています。さてこうなると20MBのハードディスクでは足りなくなってきました。SE/30のハードディスク内蔵タイプは40MBと80MBで売られているので、もはや20MBの時代では無いと自分に納得させ夏のボーナスを待ちかねる様に100MBのハードディスクを購入しました。こうしてハード的な環境が強化されたところでいよいよ第3期を迎えます。

第3期

いよいよMacを会社に導入するについての障害の除去に取り掛かりました。最大の障害は日本語環境、とりわけ印字品質の問題です。もう一つは、現在の会社の状況に対して余りにもフレキシブルなMacは、いきなり持ち込んでも使ってもらえない可能性が高いので、一応の基本システムを構築しなければならぬことでした。

正直言ってMacを買って初めてImage Writerで漢字(Osaka,Kyoto)をプリントした時はがっかりしました。メニューバーのフォントサイズには、9、12、18、24ポイントが袋文字になっていてそれらを使えば一応の品質が得られると期待したのは初心者には当然のことで、現在でも高級

プリンタを持たない初心者は同じ思いをしている事と思います。林檎の編集会議では「NTX-J」が使えますが自宅で編集時の校正刷りはImageWriterですから当然NTX-Jの品質は得られません。一行の文字数や改行巾といったレイアウトに関係する部分はNTX-Jと同じでなければならぬので、当然日本語のフォントは「細明朝・中ゴシック」を使います。しかし漢字Talk 6.0.2の時は「細明朝・中ゴシック」のビットマップフォントは大変汚く、アップルジャパンも「細明朝・中ゴシック」はNTX-J用の画面表示用フォントなのでNTX-J以外のプリンタを使用しているユーザーはKyoto,Osakaを使え」とアナウンスする始末でした。

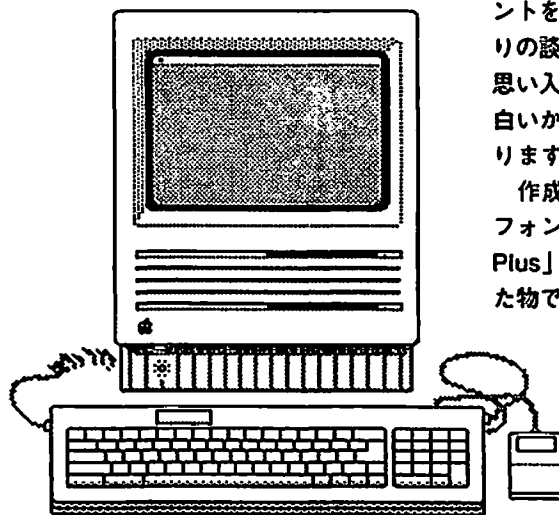
(漢字Talkが6.0.4に成ってかなり奇麗な字体に改良されImageWriterでも使えるようになりました。)そうして居る内にヒューレットパッカード社からデスクライターの発売になり高解像度プリンタ用のビットマップフォントの需要が起き、期待どおりに細明朝・中ゴシックのファミリーになれる大きなフォントが数種類発売されました。ここに至り私の頭の中でもやもやしていたイメージが鮮明に成ってきました。すなわち「どのMacで編集し、どんな種類のプリンタでプリントしても、レイアウトのずれが起こらず、そのプリンタなりの最高の品質でプリントされるシステム環境の構築。」となりま

す。勿論、最高の環境からメモリーやハードディスクの大きさに応じたスリムな環境迄を配慮した、システムの段階的な構成(主にフォントデータ)が可能でなければなりません。そして、信頼性が高く無ければ困りますし、システムの構成作業は全くの初心者以外のユーザーなら誰でも出来る程易しい事が理想です。

かくして「私のMac Life」は、丸三年を迎えんとしています。凝りに凝りまくった日本語環境整備の一応の成果を見て、会社にII Siを使用したDTPを主な用途とするシステムを一式導入しました。勿論業務用ですからポストスクリプト対応のプリンタが入りましたが、社内で個人ユーザー拡大にはこの日本語環境が大いに役立つと期待しています。

一応の完成を見た漢字フォント体系は、「細明朝」と「中ゴシック」に36ポイントと48ポイントの「フォントリソース(1バイト文字)」と「丸漢ファイル」を追加することがメインで、駄目押しとして、「中ゴシック」に18ポイントを、「大阪」に24ポイントをそれぞれ「丸漢ファイル」を加えてあります。パラメトリックフォントを使えば簡単に実現する世界の様な気もしますが、袋文字の字体や表示速度に若干気になる部分がありましたので今のところ私はビットマップフォントを高く評価しています。この辺りの談義は各自それぞれに個人的な思い入れが有って、ある意味では面白いかも知れませんが別の機会に譲ります。

作成したフォントは全て市販のフォントのリソースに「Fontastic Plus」と「ResEdit」で改造を加えた物ですから、差し上げるわけにはいきませんが、原料となるフォントをお持ちの方には改造法をお教え致します。



記・編集



HI THERE !

....by Jane Kublick

Well, I thought I'd like write about some of my impressions of Japan but before I do that I'd like to take a few minutes to introduce myself to you. My name is Jane Kublick I was born in the province of Alberta; in it's capital city of Edmonton. My family moved to a municipality called "Coquitlam" (it's located in the province west of Alberta). Coquitlam is located about 30 kilometers northeast of Vancouver, British Columbia, Canada. Coquitlam is a Canadian Indian name meaning "Little Pink Fish".

My occupation in Canada was teaching. I have taught many subjects - Physical Education, Social Studies, Mathematics, English and Consumer Education. My main interest was in Physical Education. I was very active in coaching at my Senior High School. I coached several teams - Girls' & Boys' volleyball, Girls' basketball, Girls' field hockey, and track & field. I was also a principal for a couple of years.

As I have just stated I was very involved with coaching at my High School in Canada; so one year (about 12 years ago) my volleyball team wanted to raise money to go to Japan. So for approximately 2 years we did many fund-raising events. (Fund-raising is when you do different jobs such as washing cars, collecting pop bottles, etc. to earn money for the team.). My school in Canada has a sister school in Akita city. So, the volleyball team and approximately 35 other students and 3 other teachers and myself went to Japan. This was the first time for all of us. We didn't know what to expect. We were greeted by the teachers from the sister-school with OPEN ARMS and OPEN HEARTS. We stayed for 16 days in Akita and then toured Tokyo and vicinity for another 5 days. I can remember having to stand- up in front of the students and saying very slowly "My name is Jane Kublick. I am a teacher from New Secondary School." I can also remember to sweat running down my face and thinking how can these students stand this humidity. My homestay family were very nice to me. The mother and father couldn't speak English and their

little 5 year old daughter also couldn't speak English. So, when I came home from school they would turn the TV on and give me



peanuts to eat and a bottle of beer to drink. The only thing on the TV that I could understand was Sumo. So, therefore I watched Sumo everyday. As my days drew close to an end with my homestay family I can also remember thinking to myself that one day I'm going to return to Japan.

Then, about 3 years later I came again but this time I brought only 2 volleyball players and we came to Iwate. We went to Kitakami for 2 weeks and Morioka for 1 week. During my stay in Morioka Mr. Kikuchi asked me if I'd like to come back to work here. He said, "You know, I think you would really like it here." So, I told him that I'd have to think about it and I did. I wrote to him within a couple of months and he made all the arrangements for me. I came to Kubokakuen High School. Here I taught english conversation and was the assistant volleyball coach. I also lived in the school dormitory. I was only to stay for 1 year but I really love the Japanese people that I extended my stay an extra year. I tried to make it two years but my school board in Canada would not allow me the extra year. I find the Japanese student very obedient, hard working, and still children. I really enjoy teaching them! I went back to Canada, where I was given principal of a small Junior & Senior High School. But something was missing. Although my body was in Canada my heart was still in Japan.

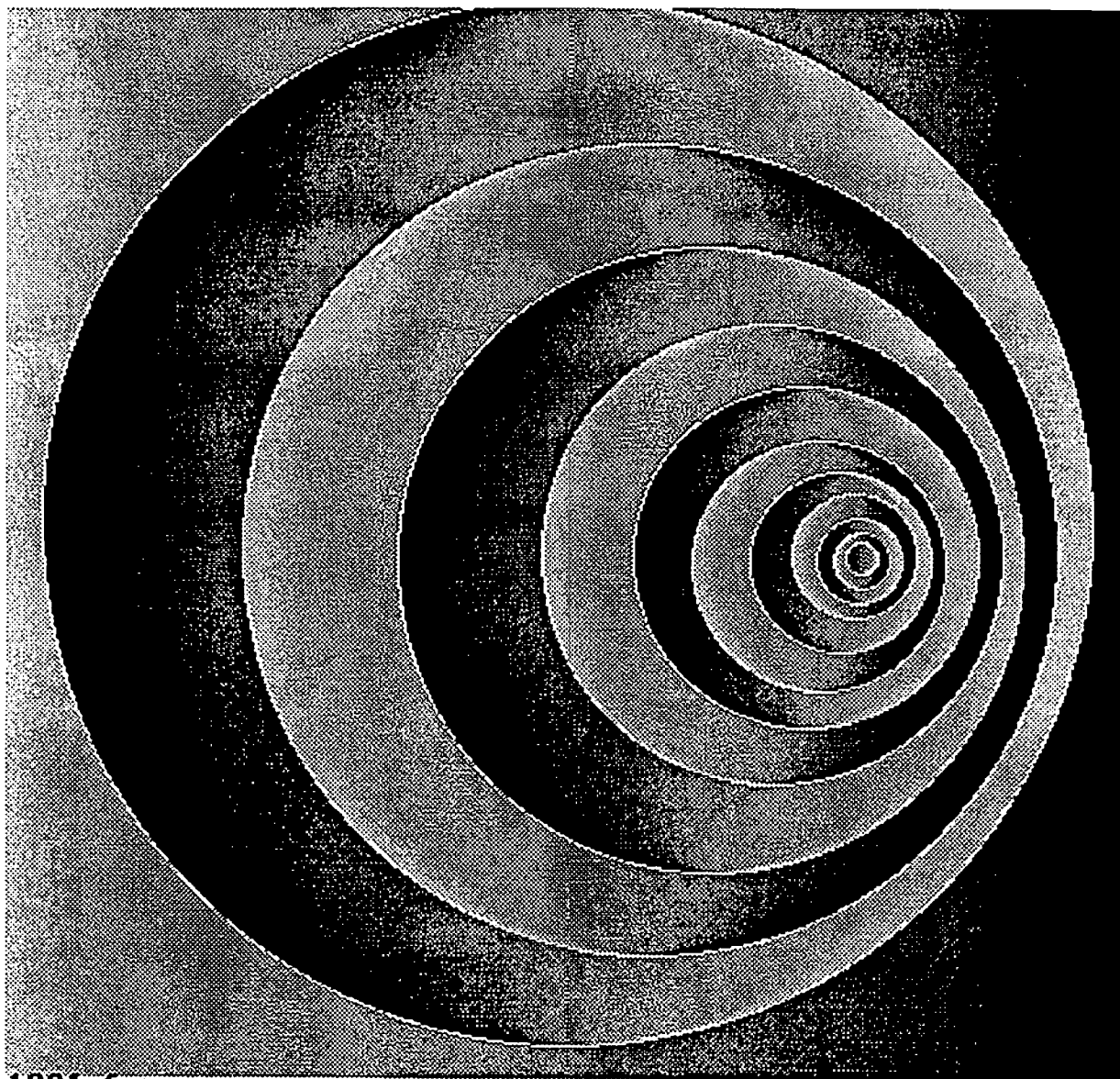
always felt that I would be coming back here. On August 1, 1989 I returned to Japan. And in October of the same year I received my Japanese teachers' licence.

People always ask me: "What's so great about Japan? Why do you stay here? When are you going home?" It's very difficult for me to give them an answer to these questions. My answer is usually: " I love this country and people very much!" It's difficult to put into words what the heart feels!

本号から、ジェーンさんがこのコラムを担当してくれます。皆さんも応援してくださいね。



林檎ギャラリー



1991-6 masao-segawa

by 瀬川昌男

Programming

by 福田健次

IMF

は今年で満三周年を迎えます。発足した当初はいくつかの分科会がありましたが、当時のMacを囲む環境はまだまだ情報不足で、対象を絞り込むよりはもっと汎用的な情報が欲しいというのがおおかたの会員の状況で、自然に休会状態に入ってしまいました。唯一、DTPに関しては会報の「林檎」の発行を通して盛んな活動が行なわれてきました。DTPは総合的な情報が必要で、編集に携わった方々は自然に各種のアプリを使いこなせるようになってゆきました。年に6回の会報の発行は忙しかったのも確かでしたが、この活動を通じて得られたものも大きかったことは編集委員の方々の実感であることに間違いありません。

当時、候補に上がっていた分科会は、Graphics、MIDI(Music)、HyperCard、Excelなどですが、IMFの今後の活動の興隆につれ復活するのも間近なことでしょう。

さて、今回の年次総会においてProgramming分科会が正式に発足

いたしました。座長を私、福田が務めさせていただきます。

Programmingなどしなくて済むからこそMacにいそしんでいるのは、私も皆さんと同じなのですが、振り返ってみますとMACで最初に手掛けたのはProgrammingでした。当時はMac Plusが価格改定され、ようやく手に入りやすくなったばかりの頃でしたが、それまでバンドルされていたMacWriteとMacPaintが別売りになり、漢字トーク1.0が添付されているだけの裸のMacを目の前にして途方に暮れていたのを覚えています。

情報が何にもありませんでしたから、選べるアプリはCanonが出していたB5一枚のパンフレットの裏にわずかばかり載っているだけでしたし、当然資金はみんな吐き出してしまっていて、そのわずかなアプリを買い込む余裕さえありませんでした。聞けば世にはPDSとってただのアプリがわんさと在って、それは通信で手に入ると。ならば通信用のアプリを最初に手に入れて、PDSを手に入れよ

う。で？通信用のアプリは？金がない。買えない。

資金を工面して買い込んだのはMacPascal、今のThink's Pascalの前身のインタープリターでした。これで通信ソフトを自前で組み上げて、PDSを手に入れようと考えたわけです。結果的にはインタープリターの遅さ(なにせPlusの上で走っています)に加えてProgramの稚拙さと相俟って使い物にはなりませんでした。今から思えばなんとも涙ぐましい時代でありました。

しかし、無いものは作ってしまおうというのがProgrammingの原動力であります。ま、今では大抵のものはありますし工夫次第で間に合いますから、もう少し便利にとか、もう少し使いやすくといいふうにNeedsは変わっているでしょうが、こんなことがしたいと思ったことがある人はProgrammer予備軍です。

現在のMacにはHyperCardというProgramming環境が整っています。つい最近までは最大限の環境

がバンドルされていましたが、これからは標準では最小限の環境が添付されるとはいえ、Macユーザーの共通の環境であることは間違いありません。Programming分科会はこのHyperCardをまず手掛かりに活動を始めて行きたいと思っています。

HyperCardはHyperTalkなるプログラミング言語を持っていて、こいつを使いこなせるとやいところ、手が届く世界が開けます。大抵のことはHyperTalkで間に合いますが、さらに隅まで搔こうとするとCやPascalのお世話にならなければなりません。で、

- HyperTalkをしゃぶり尽して使いたいと考えている方
- HyperTalkを縁にほかの言語にチャレンジしたいと考えている方
- プログラミングで遊びたいと考えている方
- 使い勝手やデザインにご意見



- を下さる方
- モニターになってレポートを下さる方
- ワイワイ騒ぎたい方

その他を集めて、皆で寄ってたかって何かを一緒に作りながら楽しもうという寸法です。今のところテーマとして、電話番号案内の通信サービスに自動的にアクセスして目当ての番号を検索してしまうスタックを作る話が持ち上がっています。当初はこんなことが出来ればいいナという話から初めまですので、ふるってご参加ください。

実は私はProgrammingをロールプレイングゲームのように楽しんでいるのです。なにしろ正式に言語教育を受けたわけではなし、Macのツールボックスも必要に迫られる都度インサイドマックを拾い読みする横着をしていますから、迷路の中を素手で歩き回るよ

by 高橋 晃

CAD/CG分科会の活動内容ですが、

- ・○○さんのスキャナー実践活用法
- ・イラストレータ等のグラフィカルなソフトの活用法 (講師○○さん)
- ・カラー関係のソフトの集中講座 (○○さん)
- ・ファイルフォーマット (PICT, TIFF, GIFなど) 勉強会

うな感覚です。それだけに魔窟の中から青空が見え始めたときの快感は言い尽せないものがあります。

104にアクセスするスタックはJISコードをシフトJISに変換する部品を作るところから始めてゆきます。シコシコと、みんなでヤイのヤイのいいながら、さてどんな結末となりますやら。楽しみですネー。 ふ。



- ・○○さんのイラスト講座
- ・画像処理講座 (Adults Only?)
- ・MacIIでもしんどい3Dソフトご披露 (○○さん)
- ・あなたも自分の家をMacで... (CAD講座)

etc...
と考えています。

IMF にProgramming分科会が発足したのを契機に、CAD/CG分科会を便乗して作ろうと言う話しが持ち上がりました。当初この分科会は「ハードを越えてCADについて情報交換をする分科会」と言う名目で名乗りをあげたのですが、なかなか異機種間のしかもCADに関してのみの活動はむずかしいと考え、以下のように少し間口を広げCADに関してはこの中であつかって行こうと思います。

最近、Graphic関係のソフトが沢山出てきていますが、この中から自分にあったソフトを見つけ出すだけでも大変です。雑誌で紹介される情報だけでは一方通行ですし...。多くの質問をぶつけながらユーザの生の声を聞いて、ソフトの選択ができればなんと有意義なことでしょう。まして、やっと選んで買ったソフトを手にしたときから新たな苦悩の始まりです。最近のMacがサポートするデータ形式は沢山ありますし、編集の問題や出力の問題などなど相互に密接に関係しあっているわけですから理解に苦しむことになります。

こんな身近な話題を、「わいわ

い」やりながら解決して行くことができたらどんなに素晴らしいことでしょう。そんな分科会ができたらきっと参加しますよね。

というわけで、Macでできる「絵」「図形」に関する事全てをこの分科会でやっちゃおうと言うわけです。これほどいきいきに間口を広げて収拾がつかない疑問ですが、全てのユーザがMacのGraphicalなインターフェースに接しているわけですし、きっと一つや二つ「お絵書き」ソフトを持っているでしょうから（みなさんHyperCardを持っていますよね！（^_^））、きっと活発な意見交換

や情報交換ができるのではないかと考えています。

Programming分科会のように、目標となるようなテーマはさしあたりありませんし、活動は盛岡市BBSと例会のときになると思いますが、振るって参加してください。

How about DTP?



分科会をつくるには

会員100人をこえる大所帯となったIMFは、全体会だけでは皆さんの多様な興味を満たすことができなくなっています。そのため、この度の総会で分科会活動を奨励することが決定し、福田さん、高橋さんのレポートのとおり早速2つの分科会が産声をあげました。そのほかにも会員の皆さんの興味に応じてたくさんの分科会で活発な活動をしていただくことを期待しています。

分科会のつくり方は次のとおりです。

- 世話役を決める。（できれば複数の方が活動しやすいと思います）
- 誕生を表明し、参加者を募る。（例会、BBSで）
- 登録する。（会報「林檎」で公表します）

分科会の活動はそれぞれの創意で自由に行っていただきますが、会報上で定期的に活動状況をご報告下さい。また、分科会の運営経費は、IMFの世話人会で検討のうえ、必要なものは手当したいと思います。

EDIT

編集後記



今回は早く終わってよかった良かった。
照井さんのグラデーションには脱毛致しました。
(^_^); 徳富



アンケートがきません。皆さん脱会でしょうか。
編集会議では、300dpiのprinterにさえ不満が出始めています。上をみればきりがない。
佐々木 (幸)



今回はFreeHandに挑戦、タイトルにのみ力が入り本文がおそろそかになってしまいました。でもこのタイトルが今日現在の「私のMacLife」です。
照井



気がつけば最終編集日1カ月たつのが早いですね。
杉村



いよいよ山の花の時期に入りました。新しい写真を沢山撮ってためておかなくては。
佐藤



プログラミング分科会に参加するのと、NeXTのObjective-C++に興味を持ったこともあって、THINK Cを買ってしまいました。よせばいいのに低レベル言語でのオブジェクト指向環境を使ってソフトウェア工学するも、いとおかし。
野村



今回は残念ながら編集の担当がありませんでしたので、のんびりと皆さんの編集作業を見学することができました。のんびりしていいですね...失礼。
高橋



熊谷さんと、菅野さんから、編集後記をお預かりするのをすっかり忘れてしまいました。菅野さんは、今回作業終了一番のりでした。有難うございました。熊谷さんには、編集担当のご連絡が遅くなって申し訳ありませんでした。
徳富



会員名簿

Harry, Evelyn	U.S.A	関口 厚光	盛岡市
Harry, Dick	U.S.A	戦場 博和	盛岡市
Kublick Jane	盛岡市	高島 浩一郎	盛岡市
Lammers, Richard L.	U.S.A	高橋 和良	盛岡市
青山 真紀子	盛岡市	高橋 晃	盛岡市
浅田 昌彦	和賀町	高橋 浩幸	盛岡市
浅沼 清智	花巻市	高橋 真知子	盛岡市
浅野 恵治	花巻市	武元 伸次	盛岡市
荒木 健次	柏市松	田中 慶司	東京都
安保 淳一	盛岡市	谷口 和美	盛岡市
伊崎 誠一	川越市	谷藤 幸夫	八戸市
伊藤 光司	花巻市	千田 昭宏	北上市
伊藤 俊也	盛岡市	塚野 弘明	盛岡市
遠藤 幹也	盛岡市	妻野 万里子	盛岡市
大石 伯	前沢町	原井 芳夫	花巻市
大河原 清	盛岡市	遠山 明人	盛岡市
小笠原 英彦	盛岡市	徳富 亘	花巻市
沖野 覚	二戸市	中居 賢司	盛岡市
小沢 徹	盛岡市	中居 順	盛岡市
小野 世利子	本吉町	長土居 正弘	盛岡市
小柳 敏和	都南村	西島 光茂	盛岡市
桂川 茂彦	盛岡市	根本 聡彦	札幌市
金井 理	釜石市	野村 行憲	盛岡市
金浜 誠己	二戸市	橋本 彰	盛岡市
兼平 信一	盛岡市	原田 聡	盛岡市
金山 慎孝	水沢市	日比野 利彦	都南村
菅野 卓矢	盛岡市	平野 三千代	盛岡市
木村 栄子	盛岡市	深沢 謙	盛岡市
工藤 利悦	都南村	福田 健次	盛岡市
工藤 聡	滝沢村	藤村 洋	盛岡市
工藤 道範	盛岡市	藤原 和彦	盛岡市
熊谷 朋也	盛岡市	本多 健一郎	盛岡市
香城 孝彦	宮山市	米谷 則美	盛岡市
小松 寿夫	北上市	真鍋 貞治	盛岡市
齋藤 岳	盛岡市	松倉 拓次	都南村
斎藤 秀一	盛岡市	三浦 一之	盛岡市
斎藤 武	盛岡市	三浦 利章	浄法寺
斎藤 裕	盛岡市	三浦 吉範	盛岡市
佐々木 明宏	盛岡市	三田 光男	盛岡市
佐々木 幸司	盛岡市	宮 義裕	矢巾町
佐々木 健	矢巾町	村上 誠一	盛岡市
佐々木 俊光	胆沢町	村上 弘行	盛岡市
佐々木 治男	矢巾町	村川 寿	盛岡市
佐々木 裕	盛岡市	望月 善次	盛岡市
佐々木 文雄	紫波町	本館 康司	花巻市
佐々木 光夫	大船町	森 貞吉	盛岡市
佐々木 吉則	盛岡市	山田 真希	盛岡市
佐藤 頌	盛岡市	山本 淳	盛岡市
佐藤 雅子	盛岡市	榎手 登	盛岡市
佐藤 譲人	盛岡市	吉田 新二	盛岡市
狭橋 浩昭	盛岡市	吉田 実	盛岡市
渋谷 誠	盛岡市	吉田 弦	盛岡市
島貫 和弘	盛岡市	和田 政男	盛岡市
白石 隆	都南村	波辺 浩志	盛岡市
菅原 健蔵	盛岡市		
菅原 忠雄	花巻市		
杉村 栄一	盛岡市		
鈴木 是光	盛岡市		
鈴木 卓	石鳥谷町		
鈴木 裕之	盛岡市		
瀬川 昌男	盛岡市		

例会開催日

7/20

8/17

9/21

いずれも
第三土曜日
です。

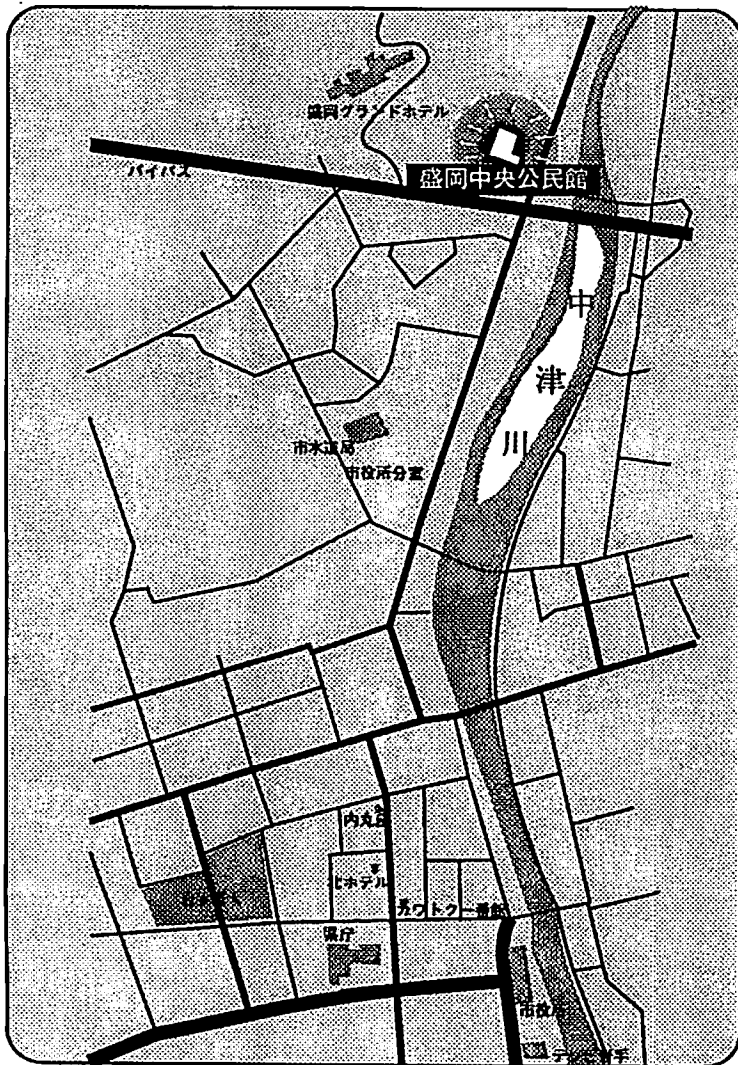
例会開催場所が

盛岡中央公民館に
変わりました。

おいでになるときは、
下の地図を参考にして
くださいね。

「林檎」の配付方法も
変わりました。

基本的には、例会で配
付します。欠席して受け
取れなかった方は、木津
屋本店に杉村さんを訪ね
て受け取ってください。



「林檎」15号は...

ASLTalk	ByWord
Color Magician	Digital Darkroom
EG-Bridge	EG-Word
Freehand	Illustrator
MacPaint	MacVJE
NinjaTerm	NISUS
PageMaker	QuarkXPress
StreamLine	SuperPaint
TurboJip	TurboWriter

等で作ったものをPageMaker でま
とめLaserWriterでプリントしまし
た。

1991/6/15 第15号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品